

24th 学校建築シンポジウム

学校と防災： 自然災害が多発する日本における学校のあり方

日時：2026年2月24日（火）17:00-19:30

会場：東京科学大学大岡山キャンパス 緑が丘ホール（+オンライン）

地震や豪雨による災害が多発する日本において、公立小中学校は、地域の中で、非常時に安心して集まれる防災拠点である。もしその被災規模が甚大で、学校を避難所として利用する期間が長期化したとしても、できる限り早い時期に学校運営を再開し、子どもたちが再び安心して通える学校に戻る、ということは、地域にとっての大変な復興のシンボルになり得る。第24回の学校建築シンポジウムでは、学校と防災に関する様々な政策を把握し、災害直後の学校再開、復興学校計画、事前復興計画の3つの視点で、各災害の特徴と復興手法を捉えながら自然災害が多発する日本における学校のあり方を議論していく。

プログラム

- 開会挨拶： 岩波 光保 東京科学大学 環境・社会理工学院長
- 司会・主旨説明： 斎尾 直子 東京科学大学 教育施設環境創造センター長
- 【講 演】
 1. 西村文彦 文教省 文教施設企画・防災部
 <政策の視点から> 「学校施設における防災施策」
 2. 深堀直人 国立教育政策研究所
 <災害直後の学校再開の視点から> 「能登半島地震における学校再開に向けた施設面での課題と工夫」
 3. 綾井 新 綾井新建築設計
 <復興学校計画と地域連携の視点から> 「東日本大震災の復興小学校の計画：陸前高田市立気仙小学校」
 4. 牧 紀男 京都大学
 <事前復興計画の視点から> 「串本町の南海トラフ事前復興計画：旧市街地からの高台移転計画」
- 【ディスカッション】
 - ・4人の講演者（前掲）
 - ・コメンテーター： 大佛 俊泰（東京科学大学）
 小泉 雅生（東京都立大学／小泉アトリエ）
 加茂 紀和子（名古屋工業大学／みかんぐみ）
 恒川 和久（名古屋大学）
- 閉会挨拶： 大佛 俊泰 元教育施設環境創造センター長

申込方法

対面（会場の人数制限あり）・オンライン併用となります
 下記のGoogleフォームよりお申し込みください【〆切 2/17】
<https://forms.gle/jk9en2JtQRvtftkr5>
 ※オンライン参加方法の情報は2/20までに御案内予定です

お問い合わせ

メールでの申込をご希望の方は下記にご連絡ください
 東京科学大学 環境・社会理工学院 教育施設環境創造センター
<https://www.rcef.gh4.titech.ac.jp/center/>
 東京都目黒区大岡山2-12-1-M4-5 斎尾研究室 小林(事務)
 TEL:03-5734-3151 Email:kobayashi.m.f1a1@m.isct.ac.jp

申込用Googleフォーム

